

ちばの食育2008概要

「食べること・生きること」生命（いのち）をつなぐちばの食育

千葉農政事務所消費生活課

- 1 開催日時：平成20年11月22日（火）10：30～15：30
- 2 開催場所：幕張メッセ 国際会議場内 コンベンションホール
- 3 主催：関東農政局千葉農政事務所、「ちばの食育」実行委員会、千葉県
- 4 目的：千葉県食育推進計画の周知を図り、食育に対する県民の理解を促進するため、食育ボランティア、食育活動団体、企業、行政が一体となり、ともに食育を広げていくことを目的とする。
- 5 テーマ：「食べること・生きること」生命（いのち）をつなぐちばの食育
- 6 参加者：約1,200名
- 7 概要

①開会式 10：30～

◎挨拶

主催者を代表し齋藤実行委員長（千葉県食生活改善協議会会長）から、「今、「食」を取り巻く状況は、食品事故や偽装表示など食の安全・安心が脅かされており、食に携わる者として、大変残念に思います。このイベントは、平成16年1月に第1回を開催してから6回目の開催となります。今年度は、千葉県の「食育推進計画」が策定されましたので、その周知の意味もあり、内容の充実も図りました。

皆さん、今日一日、ちばの食育について感じて、体験して、楽しんでください。」と開催の目的も含め挨拶がありました。



主催者挨拶する齋藤実行委員長

②講演ブース

◎第1部：わたしたちがやってきたことー活動事例発表ー

各学校等での食育への取り組みについて事例発表が行われました。

＜事例発表者＞

- ・ 千葉市「花の井保育園」園長・鈴木美岐子先生
- ・ 一宮町「東浪見小学校」の皆さん
- ・ 四街道市「四街道中学校」の皆さん
- ・ 市原市「市原中学校」の皆さん
- ・ いすみ市「岬中学校」の皆さん
- ・ 千葉市「大椎中学校」の皆さん
- ・ いすみ市「大原中学校」の皆さん
- ・ 松戸市「松戸国際高等学校」家庭クラブの皆さん
- ・ 匝瑳市「野菜学校給食センター」管理栄養士 秋山真理子さん

◎第2部：「食えること・生きること」生命をつなぐちばの食育



ディスカッションの様子

堂本暁子千葉県知事がコーディネーターとなり、「食えること・生きること」をテーマに、遠藤陽子・NPO千葉自然学校事務局長、赤坂守人・日本大学歯学部研究所教授、佐藤真一・千葉県衛生研究所技監をパネラーに迎え、パネルディスカッションを行いました。

◎第3部：今日からできることーみんなへつなぐ輪ー

今年度、千葉県では食品関連事業者と協力して「食からはじまる健康づくり」に取り組んでいます。その一つとして、身近なコンビニエンスストアで販売するお弁当について、健康を考えさらには商品化に向けてお弁当コンテストを開きアイデアの募集がされました。その中から、優秀作品に選ばれた5作品について発表・表彰が行われました。

＜受賞者＞

- ・ 聖徳大学人文学部人間栄養学科（3名：3作品）

・和洋女子大学家政学部健康栄養学科 （2名：2作品）

また、みんなで取り組むちばの食育推進に向けて、今後の食育活動の取り組み方針について、健康、教育、農林水産の各分野を代表して、（社）千葉県看護協会・松永敏子会長、千葉県学校栄養士会・上野洋子会長、千葉県農業協同組合中央会・岡田盛雄農業振興部長代理から発表が行われました。

③食育活動展示・交流・体験・販売ブース

◎関係団体、企業、行政等の食育活動のパネル展示、旬の新鮮農産物等の販売、食育ボランティアや企業による食育講座、太巻き寿司教室や和菓子作り教室、骨密度測定や栄養・歯科相談などを通して、参加者との交流を深めました。

<食育活動展示・販売の様子>

